

美作監査第40号
令和7年8月25日

美作市長 萩原 誠司 殿

美作市監査委員 尾崎 功三
美作市監査委員 角南 良雄

令和6年度美作市公営企業会計決算審査意見について

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第30条第2項の規定により、審査に付された令和6年度美作市公営企業会計決算及び各証書類その他関係書類を審査したので、その結果について次のとおり意見書を提出します。

令和6年度

美作市公営企業会計決算審査意見書

美作市水道事業会計

美作市病院事業会計

美作市下水道事業会計

美作市監査委員

目 次

第1	基準に準拠している旨	1
第2	審査の種類	1
第3	審査の対象	1
第4	審査の着眼点	1
第5	審査の主な実施内容	1
第6	審査の実施場所及び日程	1
第7	審査の結果及び意見	1
1	美作市水道事業会計	2
(1)	事業概要	2
(2)	予算の執行状況	3
(3)	経営成績	5
(4)	財政状況	7
(5)	むすび	9
2	美作市病院事業会計	10
(1)	事業概要	10
(2)	予算の執行状況	10
(3)	経営成績	12
(4)	財政状況	14
(5)	むすび	16
3	美作市下水道事業会計	17
(1)	事業概要	17
(2)	予算の執行状況	18
(3)	経営成績	23
(4)	財政状況	26
(5)	むすび	28

(注) ① 説明文中の金額は原則として万円単位で表し、万円未満については切り捨てた。
このため計数が一致しないことがある。

② 比率・割合は、原則として小数点第2位を四捨五入した。このため計数が一致しない
場合がある。

③ 各表中比較増減の減は、△印で表示した。

④ 1.事業概要、2.予算執行状況は消費税込みで示し、3.経営成績、4.財政状況は消
費税抜きで表示した。

⑤ 「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものである。

⑥ 「-」は、該当数値のないもの、又は算出不能なものである。

⑦ 「皆増」は、前年度に数値がなく全額増加したものである。

⑧ 「皆減」は、当該年に数値がなく全額減少したものである。

令和6年度美作市公営企業会計決算審査意見

第1 基準に準拠している旨

監査委員は、美作市監査基準（令和2年美作市監査委員告示第1号）に準拠して審査を行った。

第2 審査の種類

決算審査（地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第30条第2項）

第3 審査の対象

令和6年度 美作市水道事業会計決算

令和6年度 美作市病院事業会計決算

令和6年度 美作市下水道事業会計決算

第4 審査の着眼点

有効性、効率性、経済性に注目し審査した。

第5 審査の主な実施内容

実査、立会、確認、証憑突合、帳簿突合、計算突合、質問、観察、閲覧等の手法により、効果的かつ効率的に十分かつ適切な審査の証拠を入手して審査を実施した。

また、地方自治法（昭和22年法律第67号）第235条の2第1項の規定により実施した例月現金出納検査、同法第199条第1項及び第4項の規定により実施した定期監査の結果も考慮に入れながら、必要に応じ関係者からの説明を聴取して審査を実施した。

第6 審査の実施場所及び日程

審査の実施場所：美作市役所（美作市美来1番地）

美作市立大原病院（美作市古町1771番地9）

日程：令和7年7月25日

第7 審査の結果及び意見

審査に付された歳入歳出決算書及びその他関係諸帳簿等はいずれも関係法令に準拠して作成され、計数は符合し正確であり、予算の執行は審査した限りにおいては適正であると認められた。

なお、各事業の決算概要及びこれに対する審査意見は次のとおりである。

1 美作市水道事業会計

(1) 事業概要

年度 区分	単位	R 6	R 5	増 減	増減率 (%)
給 水 人 口	人	24,557	25,125	△ 568	△ 2.26
加 入 戸 数	戸	14,893	14,974	△ 81	△ 0.54
給 水 戸 数	戸	13,172	13,303	△ 131	△ 0.98
給水中止戸数	戸	1,721	1,671	50	2.99
総 配 水 量	m ³	4,006,097	3,887,749	118,348	3.04
総 有 収 水 量	m ³	2,922,413	2,922,403	10	0.00
有 収 率	%	72.95	75.17	△ 2.22	

(2) 予算の執行状況（消費税込み）

① 収益的収入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	収入率	構成比率	予算額に比べ 決算額の増減
上水道事業収益	554,053,000	562,453,701	101.5	70.5	8,400,701
営業収益	523,756,000	533,248,745	101.8	66.8	9,492,745
営業外収益	30,297,000	29,204,956	96.4	3.7	△ 1,092,044
特別利益	0	0	—	0.0	0
簡易水道事業収益	251,033,000	235,515,514	93.8	29.5	△ 15,517,486
営業収益	154,248,000	146,568,618	95.0	18.4	△ 7,679,382
営業外収益	96,785,000	88,946,896	91.9	11.1	△ 7,838,104
特別利益	0	0	—	0.0	0
合 計	805,086,000	797,969,215	99.1	100.0	△ 7,116,785

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	執行率	構成比率	不用額
上水道事業費用	663,398,000	569,723,202	85.9	59.7	93,674,798
営業費用	637,584,000	565,817,424	88.7	59.3	71,766,576
営業外費用	17,514,000	2,513,728	14.4	0.3	15,000,272
特別損失	5,300,000	1,392,050	26.3	0.1	3,907,950
予備費	3,000,000	0	—	0.0	3,000,000
簡易水道事業費用	424,455,000	384,904,728	90.7	40.3	39,550,272
営業費用	388,331,000	354,802,979	91.4	37.2	33,528,021
営業外費用	34,224,000	29,869,171	87.3	3.1	4,354,829
特別損失	1,100,000	232,578	21.1	0.0	867,422
予備費	800,000	0	—	0.0	800,000
合 計	1,087,853,000	954,627,930	87.8	100.0	133,225,070

収益的収入の決算額は7億9,796万円で、収入率は99.1%、収益的支出の決算額は9億5,462万円で執行率は87.8%である。

また、収入の構成比率は、上水道事業収益が70.5%、簡易水道事業収益が29.5%であったが、支出の構成比率は、上水道事業費用が59.7%、簡易水道事業費用が40.3%である。

② 資本的収入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
上水道事業資本的収入	641,233,000	99,565,000	15.5	△ 541,668,000
出 資 金	285,500,000	13,800,000	4.8	△ 271,700,000
企 業 債	339,500,000	67,900,000	20.0	△ 271,600,000
補 助 金	12,933,000	13,036,000	100.8	103,000
負 担 金	3,300,000	4,829,000	146.3	1,529,000
簡易水道事業資本的収入	462,509,000	405,719,000	87.7	△ 56,790,000
出 資 金	268,409,000	241,362,000	89.9	△ 27,047,000
企 業 債	193,000,000	162,300,000	84.1	△ 30,700,000
負 担 金	1,100,000	2,057,000	187.0	957,000
合 計	1,103,742,000	505,284,000	45.8	△ 598,458,000

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	翌 年 度 繰 越 額	執行率	不用額
上水道事業資本的支出	873,355,000	245,356,910	588,500,000	28.1	39,498,090
建 設 改 良 費	833,150,000	205,152,200	588,500,000	24.6	39,497,800
企 業 債 償 還 金	40,205,000	40,204,710	0	100.0	290
簡易水道事業資本的支出	462,509,000	405,718,222	40,000,000	87.7	16,790,778
建 設 改 良 費	223,130,000	166,339,800	40,000,000	74.5	16,790,200
企 業 債 償 還 金	239,379,000	239,378,422	0	100.0	578
合 計	1,335,864,000	651,075,132	628,500,000	48.7	56,288,868

資本的収入決算額5億528万円の事業ごとの内訳は、上水道事業資本的収入9,956万円、簡易水道事業資本的収入4億571万円で、予算額11億374万円に対する収入率は45.8%となっている。

資本的支出決算額6億5,107万円の事業ごとの内訳は、上水道事業資本的支出2億4,535万円、簡易水道事業資本的支出4億571万円で、予算額13億3,586万円に対する執行率は48.7%となっている。

なお、翌年度繰越額を含めた執行率は95.8%となっている。

(3) 経営成績

① 損益計算書

損益計算書

(単位：円・%)

年度 科目	R 6		R 5		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
営業収益	618,972,944	83.5	534,210,800	72.4	84,762,144	15.9
給水収益	583,248,345	78.6	486,781,305	65.9	96,467,040	19.8
他会計負担金	3,528,000	0.5	3,375,000	0.5	153,000	4.5
受託工事収益	6,611,011	0.9	19,542,155	2.6	△ 12,931,144	△ 66.2
その他の営業収益	25,585,588	3.4	24,512,340	3.3	1,073,248	4.4
営業費用	887,908,624	95.2	825,383,533	93.9	62,525,091	7.6
原水及び浄水費	174,802,818	18.7	124,711,145	14.2	50,091,673	40.2
配水及び給水費	100,848,663	10.8	106,683,077	12.1	△ 5,834,414	△ 5.5
受託工事費	6,587,000	0.7	18,863,000	2.1	△ 12,276,000	△ 65.1
総係費	192,475,834	20.6	173,241,565	19.7	19,234,269	11.1
減価償却費	400,751,912	43.0	395,562,454	45.0	5,189,458	1.3
資産減耗費	11,912,952	1.3	5,605,625	0.6	6,307,327	112.5
その他営業費用	529,445	0.1	716,667	0.1	△ 187,222	△ 26.1
営業損失	268,935,680	—	291,172,733	—	△ 22,237,053	△ 7.6
営業外収益	122,741,638	16.5	204,059,086	27.6	△ 81,317,448	△ 39.8
受取利息及び配当金	3,603,824	0.5	10,507,846	1.4	△ 6,904,022	△ 65.7
他会計負担金	16,863,000	2.3	17,301,000	2.3	△ 438,000	△ 2.5
他会計補助金	15,612,000	2.1	97,383,000	13.2	△ 81,771,000	△ 84.0
長期前受金戻入	77,707,929	10.5	78,849,340	10.7	△ 1,141,411	△ 1.4
雑収益	8,954,885	1.2	17,900	0.0	8,936,985	49,927.3
営業外費用	43,121,869	4.6	49,524,994	5.6	△ 6,403,125	△ 12.9
支払利息及び企業債取扱諸費	32,382,899	3.5	36,412,651	4.1	△ 4,029,752	△ 11.1
雑支出	10,738,970	1.2	13,112,343	1.5	△ 2,373,373	△ 18.1
経常損失	189,315,911	—	136,638,641	—	52,677,270	38.6
経常利益	0	0.0	0	0.0	0	—
特別損失	1,476,939	0.2	4,126,152	0.5	△ 2,649,213	△ 64.2
過年度損益修正損	14,700	0.0	892,257	0.1	△ 877,557	△ 98.4
その他特別損失	1,462,239	0.2	3,233,895	0.4	△ 1,771,656	△ 54.8
当年度純損失	190,792,850	—	140,764,793	—	50,028,057	35.5
前年度繰越欠損金	551,491,798	—	410,727,005	—	140,764,793	34.3
その他未処分利益剰余金変動額	40,200,000	—	51,000,000	—	△ 10,800,000	△ 21.2
当年度未処理欠損金	702,084,648	—	500,491,798	—	201,592,850	40.3

(注) 構成比は総収益(7億4,171万円)、総費用(9億3,250万円)に対する比率である。

ア 営業損益

営業収益 6 億 1,897 万円から営業費用 8 億 8,790 万円を控除した営業損益は 2 億 6,893 万円の損失となっている。

イ 経常損益

営業外収益 1 億 2,274 万円と営業外費用 4,312 万円を加減した経常損益は 1 億 8,931 万円の損失となっている。

ウ 純損益

経常損失に特別損失 147 万円を加算した当年度純損益は 1 億 9,079 万円の損失となっている。

エ まとめ

令和 2 年度から、簡易水道特別会計を水道事業会計に統合したため、前年度の繰越損失を加えて約 7 億円の損失計上となっている。

② 未収金の状況について

水道料金未収金一覧

(単位：円・%)

区分	年度	R 6	R 5	対前年度比	
				増 減	増減率
現年度分	美作地区	5,083,964	4,696,006	387,958	8.3
	作東地区	1,938,136	1,141,374	796,762	69.8
	英田地区	813,604	611,802	201,802	33.0
	勝田地区	539,046	390,952	148,094	37.9
	大原地区	822,807	550,704	272,103	49.4
	東粟倉地区	236,003	216,705	19,298	8.9
	計	9,433,560	7,607,543	1,826,017	24.0
過年度分	美作地区	4,889,075	3,768,378	1,120,697	29.7
	作東地区	4,035,793	3,869,298	166,495	4.3
	英田地区	439,881	463,082	△ 23,201	△ 5.0
	勝田地区	604,401	571,073	33,328	5.8
	大原地区	671,405	711,046	△ 39,641	△ 5.6
	東粟倉地区	205,043	185,601	19,442	10.5
	計	10,845,598	9,568,478	1,277,120	13.3
合 計	20,279,158	17,176,021	3,103,137	18.1	

令和 6 年度末現在の水道料金の未収金は 2,027 万円であり、前年度から 310 万円の増額となっている。

(4) 財政状況

≪資産の部≫

(単位：円・%)

年度 科目	R 6		R 5		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
固定資産	8,216,985,949	84.8	8,491,930,813	87.0	△274,944,864	△ 3.2
有形固定資産	7,960,832,949	82.2	8,025,434,813	82.3	△ 64,601,864	△ 0.8
土地	355,002,881	3.7	355,002,881	3.6	0	—
建物	308,468,415	3.2	322,869,575	3.3	△ 14,401,160	△ 4.5
構築物	6,251,126,454	64.5	6,314,955,232	64.7	△ 63,828,778	△ 1.0
機械及び装置	1,021,080,329	10.5	1,018,286,745	10.4	2,793,584	0.3
車両運搬具	2,820,919	0.0	3,778,573	0.0	△ 957,654	△25.3
工具器具及び備品	2,783,951	0.0	5,341,807	0.1	△ 2,557,856	△47.9
建設仮勘定	19,550,000	0.2	5,200,000	0.1	14,350,000	276.0
無形固定資産	56,153,000	0.6	66,496,000	0.7	△ 10,343,000	△15.6
施設利用権	0	0.0	430,000	0.0	△ 430,000	皆減
ソフト使用権	56,153,000	0.6	66,066,000	0.7	△ 9,913,000	△15.0
投資その他の資産	200,000,000	2.1	400,000,000	4.1	△200,000,000	△50.0
投資有価証券	200,000,000	2.1	400,000,000	4.1	△200,000,000	△50.0
流動資産	1,470,996,576	15.2	1,264,172,423	13.0	206,824,153	16.4
現金預金	1,374,604,526	14.2	1,092,806,987	11.2	281,797,539	25.8
未収金	52,654,043	0.5	139,639,472	1.4	△ 86,985,429	△62.3
貯蔵品	31,838,007	0.3	31,725,964	0.3	112,043	0.4
前払金	11,900,000	0.1	0	0.0	11,900,000	皆増
資産合計	9,687,982,525	100.0	9,756,103,236	100.0	△ 68,120,711	△ 0.7

《負債及び資本の部》

(単位：円・%)

科 目	R 6		R 5		対前年度比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減	増減率
固 定 負 債	2,220,038,564	22.9	2,224,261,526	22.8	△ 4,222,962	△ 0.2
企業債(建設改良等企業債)	2,210,995,732	22.8	2,215,218,694	22.7	△ 4,222,962	△ 0.2
引当金(修繕引当金)	9,042,832	0.1	9,042,832	0.1	0	—
流 動 負 債	438,106,144	4.5	507,961,114	5.2	△ 69,854,970	△ 13.8
企 業 債	234,422,962	2.4	279,583,132	2.9	△ 45,160,170	△ 16.2
未 払 金	154,377,619	1.6	183,707,761	1.9	△ 29,330,142	△ 16.0
預 り 金	39,552,563	0.4	34,620,221	0.4	4,932,342	14.2
引 当 金	9,753,000	0.1	10,050,000	0.1	△ 297,000	△ 3.0
繰 延 収 益	1,419,970,035	14.7	1,484,641,964	15.2	△ 64,671,929	△ 4.4
長 期 前 受 金	1,419,970,035	14.7	1,484,641,964	15.2	△ 64,671,929	△ 4.4
資 本 金	5,862,589,032	60.5	5,556,427,032	57.0	306,162,000	5.5
自 己 資 本 金	4,455,191,731	46.0	4,455,191,731	45.7	0	—
組 入 資 本 金	51,000,000	0.5	0	0.0	51,000,000	皆増
一 般 会 計 出 資 金	1,356,397,301	14.0	1,101,235,301	11.3	255,162,000	23.2
剰 余 金	△ 252,721,250	△2.6	△ 17,188,400	△0.2	△ 235,532,850	1,370.3
資 本 剰 余 金	173,563,398	1.8	167,303,398	1.7	6,260,000	3.7
受 贈 財 産 評 価 額	3,348	0.0	3,348	0.0	0	—
保 険 金	21,820,050	0.2	21,820,050	0.2	0	—
そ の 他 剰 余 金	151,740,000	1.6	145,480,000	1.5	6,260,000	4.3
利 益 剰 余 金	△ 426,284,648	△4.4	△ 184,491,798	△1.9	△ 241,792,850	131.1
減 債 積 立 金	77,800,000	0.8	118,000,000	1.2	△ 40,200,000	△ 34.1
建 設 改 良 積 立 金	198,000,000	2.0	198,000,000	2.0	0	—
当 年 度 未 処 理 欠 損 金	702,084,648	△7.2	500,491,798	△5.1	201,592,850	40.3
負 債 ・ 資 本 合 計	9,687,982,525	100.0	9,756,103,236	100.0	△ 68,120,711	△ 0.7

資産・負債の総額は96億8,798万円で、資産の内訳は、固定資産が82億1,698万円、流動資産が14億7,099万円である。

また、負債及び資本の内訳は、固定負債が22億2,003万円、流動負債が4億3,810万円、繰延収益が14億1,997万円、資本金が58億6,258万円、剰余金が△2億5,272万円である

(5) む す び

① 業務実績について

水道事業は、社会経済活動を支える重要な基盤施設であり、快適な市民生活の実現や社会経済の維持及び発展に不可欠なものとなっており、地域住民のライフラインとして、常時「安全で安心な水道水」を安定供給していくことが使命である。

本年度末における給水人口は 24,557 人、給水戸数は 13,172 戸で、前年度と比較すると給水人口は 568 人、給水戸数は 131 戸それぞれ減少している。また、年間総配水量は 4,006,097 m³、総有水量は、2,922,413 m³、有収率は 72.95%で、前年度と比較すると、総配水量は 118,348 m³及び総有水量は 10 m³増加し、有収率は 2.22 ポイント悪化している。年間総配水量の増加は、配水池等の機械設備の故障や水道管の継続的な漏水等に起因しているものと考えられる。

なお、簡易水道事業に係る料金が改定され、料金収入が増し一般会計への負担は軽減された。

また、今後安心・安全な水道水を安定的に給水するためには人員、技術継承等が必要となるが、水道事業のみで賄うことが困難であると判断し、令和 6 年 10 月から水道施設維持管理業務委託として、水道業務の一部を民間へ委託した。

② 意見及び指摘事項

水道事業は、地域住民のライフラインとして低廉で清浄な水道水を常時安定給水していくことを使命としているが、給水人口は年々減少し減収になってきていることから、さらに効果的な事業運営が必要とされる。

本年度における経常収支比率は 79.7%で、純損失 1 億 9,079 万円が計上されている。また、昭和 40 年代以降に建設した施設、管路が経年劣化等により更新時期を迎えており、設備の改修費用が増加していることから、施設の統廃合を含めた設備の更新等の計画に則り、最小の経費で最大の効果を得るための方策を検討しながら、引き続き一層の経費削減に努められたい。

また、令和 6 年度未収金は 2,027 万円と昨年より 3 万円増加している。公平性の観点から、新たな未収金の発生抑止に努めるなど、収入未済額の縮減に努めるとともに、滞納処理に関連する全ての部署が連携の上、総合的な対応の出来る体制をつくり、収納率向上のために効率的で成果の上がる取り組みを検討されたい。

2 美作市病院事業会計

(1) 事業概要

(単位：人・%)

年度 区分	R 6	R 5	増 減	増減率
入 院	23,538	24,263	△ 725	△ 3.0
外 来	24,107	25,496	△ 1,389	△ 5.4

(2) 予算の執行状況（消費税込み）

① 収益的収入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
病院事業収益	1,173,710,000	1,087,857,566	92.7	△ 85,852,434
医業収益	956,551,000	871,347,124	91.1	△ 85,203,876
医業外収益	217,158,000	216,510,442	99.7	△ 647,558
特別利益	1,000	0	0.0	△ 1,000

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不 用 額
病院事業費用	1,229,867,000	1,056,553,644	85.9	173,313,356
医業費用	1,186,865,000	1,027,453,540	86.6	159,411,460
医業外費用	40,001,000	29,100,104	72.7	10,900,896
特別損失	1,000	0	0.0	1,000
予備費	3,000,000	0	0.0	3,000,000

収益的収入の決算額は10億8,785万円であり、その内訳は医業収益8億7,134万円、医業外収益2億1,651万円で、予算額11億7,371万円に対し92.7%の収入率となっている。

また、収益的支出の決算額は10億5,655万円であり、その内訳は医業費用10億2,745万円、医業外費用2,910万円で、予算額12億2,986万円に対し85.9%の執行率となっている。

② 資本的収入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
資 本 的 収 入	104,122,000	100,022,000	96.1	△ 4,100,000
一般会計出資金	28,522,000	28,522,000	100.0	0
企 業 債	75,600,000	71,500,000	94.6	△ 4,100,000
投資償還金	0	0	—	0

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不用額
資 本 的 支 出	145,486,000	140,243,740	96.4	5,242,260
建設改良費	88,440,000	83,198,200	94.1	5,241,800
企業債償還金	57,046,000	57,045,540	100.0	460

資本的収入の決算額は1億2万円で、予算に対する収入率は96.1%となっている。

また、資本的支出の決算額は1億4,024万円で、その内訳は建設改良費が8,319万円、企業債償還金が5,704万円で、予算に対する執行率は建設改良費94.1%、企業債償還金が100.0%となっている。

(3) 経営成績

① 損益計算書

損益計算書

(単位:円・%)

年度 科目	R 6		R 5		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
医業収益	865,807,098	80.0	922,894,793	75.9	△ 57,087,695	△ 6.2
入院収益	585,982,204	54.2	624,590,086	51.3	△ 38,607,882	△ 6.2
外来収益	169,839,034	15.7	185,814,330	15.3	△ 15,975,296	△ 8.6
その他医業収益	109,985,860	10.2	112,490,377	9.2	△ 2,504,517	△ 2.2
医業費用	1,007,969,265	94.9	993,676,657	94.9	14,292,608	1.4
給与費	687,663,092	64.8	671,044,456	64.1	16,618,636	2.5
材料費	100,307,828	9.4	115,627,102	11.0	△ 15,319,274	△ 13.2
経費	132,799,193	12.5	126,562,656	12.1	6,236,537	4.9
減価償却費	83,965,049	7.9	78,923,591	7.5	5,041,458	6.4
資産減耗費	3,103,376	0.3	1,377,850	0.1	1,725,526	125.2
研究研修費	130,727	0.0	141,002	0.0	△ 10,275	△ 7.3
医業損失	142,162,167	—	70,781,864	—	71,380,303	100.8
医業外収益	216,308,268	20.0	293,472,328	24.1	△ 77,164,060	△ 26.3
受取利息及び配当金	7,565,571	0.7	6,432,663	0.5	1,132,908	17.6
他会計補助金	191,171,000	17.7	249,051,000	20.5	△ 57,880,000	△ 23.2
国・県補助金	4,450,000	0.4	24,751,400	2.0	△ 20,301,400	△ 82.0
患者外給食収益	128,462	0.0	118,007	0.0	10,455	8.9
長期前受金戻入	10,105,111	0.9	10,224,159	0.8	△ 119,048	△ 1.2
その他医業外収益	2,888,124	0.3	2,895,099	0.2	△ 6,975	△ 0.2
医業外費用	53,635,160	5.1	52,945,284	5.1	689,876	1.3
支払利息及び企業債取扱諸費	8,341,175	0.8	9,028,559	0.9	△ 687,384	△ 7.6
患者外給食材料費	155,643	0.0	188,955	0.0	△ 33,312	△ 17.6
院内保育所運営費	12,184,009	1.1	11,536,954	1.1	647,055	5.6
雑支出	28,716,662	2.7	26,855,816	2.6	1,860,846	6.9
長期前払消費税勘定償却費償却費	4,237,671	0.4	5,335,000	0.5	△ 1,097,329	△ 20.6
経常利益	20,510,941	—	169,745,180	—	△149,234,239	△ 87.9
特別利益	0	—	0	—	0	—
特別損失	0	—	0	—	0	—
当年度純利益	20,510,941	—	169,745,180	—	△149,234,239	△ 87.9
前年度繰越利益剰余金	1,968,947,013	—	1,819,201,833	—	149,745,180	8.2
当年度未処分利益剰余金	1,989,457,954	—	1,988,947,013	—	510,941	0.0

(注) 構成比は総収益(10億8,211万円)、総費用(10億6,160万円)に対する比率である。

令和5年度の当年度未処分利益剰余金 19 億 8894 万円と令和6年度の前年度繰越利益剰余金 19 億 6,894 万円の差 2,000 万円は令和6年度の減債積立金で処理している。

ア 医業損益

医業収益 8 億 6,580 万円から医業費用 10 億 796 万円を控除した医業損失は 1 億 4,216 万円となっている。

イ 経常損益

医業損失に医業外収益 2 億 1,630 万円と医業外費用 5,363 万円を加減した経常利益は 2,051 万円となっている。

ウ 純利益

特別利益、特別損失がないため当年度純利益は 2,051 万円となっている。

また、前年度繰越利益剰余金 19 億 6,894 万円に当年度純利益を加算した 19 億 8,945 万円が当年度未処分利益剰余金となっている。

エ まとめ

病院経営は医業収支では約 1 億円の赤字であったが、他会計補助金や国・県補助金などの医業外収益により 2,051 万円の黒字経営となっている。

② 未収金について

(単位：円・%)

区 分 \ 年 度		R 6	R 5	対前年度比	
		金 額	金 額	増 減	増減率
現 年 度 分	入 院	6,651,976	5,281,250	1,370,726	26.0
	外 来	188,480	335,300	△ 146,820	△ 43.8
	事 故	143,500	1,002,025	△ 858,525	△ 85.7
	介 護	175,074	190,514	△ 15,440	△ 8.1
	計	7,159,030	6,809,089	349,941	5.1
過 年 度 分	入 院	4,096,123	3,556,968	539,155	15.2
	外 来	701,618	695,525	6,093	0.9
	事 故	0	0	0	—
	介 護	0	0	0	—
	計	4,797,741	4,252,493	545,248	12.8
合 計		11,956,771	11,061,582	895,189	8.1

令和6年度末現在の未収金は、1,195 万円であり、前年度と比べ 89 万円 (8.1%) 増加している。

(4) 財政状況

《資産の部》

(単位：円・%)

年度 科目	R 6		R 5		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
固定資産	1,857,669,092	38.9	1,873,322,172	39.7	△ 15,653,080	△ 0.8
有形固定資産	1,457,669,092	30.5	1,469,084,501	31.1	△ 11,415,409	△ 0.8
土地	5,861,552	0.1	5,861,552	0.1	0	0.0
建物	1,298,982,772	27.2	1,352,185,968	28.6	△ 53,203,196	△ 3.9
構築物	4,219,512	0.1	4,219,512	0.1	0	0.0
機械備品	144,826,237	3.0	106,438,450	2.3	38,387,787	36.1
車両運搬具	379,019	0.0	379,019	0.0	0	0.0
建設仮勘定	3,400,000	0.1	0	0.0	3,400,000	皆増
投資その他の資産	400,000,000	8.4	404,237,671	8.6	△ 4,237,671	△ 1.0
投資有価証券	400,000,000	8.4	400,000,000	8.5	0	0.0
長期前払消費税	0	0.0	4,237,671	0.1	△ 4,237,671	皆減
流動資産	2,923,095,708	61.1	2,848,507,002	60.3	74,588,706	2.6
現金預金	2,792,147,075	58.4	2,699,513,512	57.2	92,633,563	3.4
未収金	127,755,343	2.7	145,731,103	3.1	△ 17,975,760	△12.3
貯蔵品	3,193,290	0.1	3,262,387	0.1	△ 69,097	△ 2.1
前払金	0	0.0	0	0.0	0	—
資産合計	4,780,764,800	100.0	4,721,829,174	100.0	58,935,626	1.2

《負債及び資本の部》

(単位：円・%)

年度 科目	R 6		R 5		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
固定負債	733,516,760	15.3	718,562,300	15.2	14,954,460	2.1
企業債	556,938,080	11.6	542,483,620	11.5	14,454,460	2.7
引当金	176,578,680	3.7	176,078,680	3.7	500,000	0.3
退職給付引当金	133,588,930	2.8	133,588,930	2.8	0	0.0
特別修繕引当金	42,989,750	0.9	42,489,750	0.9	500,000	1.2
流動負債	78,699,055	1.6	73,645,719	1.6	5,053,336	6.9
企業債	0	0.0	0	0.0	0	—
未払金	41,608,932	0.9	36,088,571	0.8	5,520,361	15.3
引当金(賞与引当金)	36,991,000	0.8	37,463,000	0.8	△ 472,000	△ 1.3
預り金	99,123	0.0	94,148	0.0	4,975	5.3
繰延収益(長期前受金)	160,873,267	3.4	170,978,378	3.6	△ 10,105,111	△ 5.9
資本金	1,524,984,295	31.9	1,496,462,295	31.7	28,522,000	1.9
自己資本金	1,524,984,295	31.9	1,496,462,295	31.7	28,522,000	1.9
剰余金	2,282,691,423	47.7	2,262,180,482	47.9	20,510,941	0.9
資本剰余金	49,253,665	1.0	49,253,665	1.0	0	0.0
国・県補助金	6,084,760	0.1	6,084,760	0.1	0	0.0
負担金	43,168,905	0.9	43,168,905	0.9	0	0.0
利益剰余金	2,233,437,758	46.7	2,212,926,817	46.9	20,510,941	0.9
減債積立金	235,000,000	4.9	215,000,000	4.6	20,000,000	9.3
利益積立金	8,979,804	0.2	8,979,804	0.2	0	0.0
当年度未処分利益剰余金	1,989,457,954	41.6	1,988,947,013	42.1	510,941	0.0
負債・資本合計	4,780,764,800	100.0	4,721,829,174	100.0	58,935,626	1.2

資産・負債の総額は47億8,076万円で、資産の内訳は、固定資産が18億5,766万円、流動資産が29億2,309万円である。

また、負債及び資本の内訳は、固定負債が7億3,351万円、流動負債が7,869万円、繰延収益が1億6,087万円、資本金が15億2,498万円、剰余金が22億8,269万円である。

(5) む す び

① 業務実績について

本年度における患者数は、入院が23,538人、外来が24,107人であった。前年度と比較すると入院が725人の減、外来が1,389人の減となっている。収益的には、前年度から入院収益が3,860万円、外来収益が1,597万円の減となっている。

また、時間外における診療件数は1,657件、救急搬送件数は318件であった。前年度と比較すると時間外診療件数は96件の減、救急搬送件数は17件の増となっている。

なお、収益的収支は、収益決算額が10億8,785万円であり、前年度から1億3,425万円の減、費用決算額は10億5,655万円と前年度から1,327万円の増となった。主な内容について前年度の金額と比較すると、収益面では他会計補助金が5,788万円、国・県補助金が2,030万円の減となり、当年度の純利益は前年度より1億4,923万円減少している。

一方、資本的収支については、機械備品購入費においてLED内視鏡システム等を7,110万円で、工事請負において給湯ボイラーを834万円で更新を行っている。また本年度も、企業債5,704万円の償還を執行している。

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症の補助金等が減少したが、純利益を計上できしており、今後も引き続き健全な経営を継続するとともに、将来的な人材育成のためにも美作市医療看護専門学校から看護実習生を受け入れるなど、地域医療サービスの提供主体としての役割を果たしている。

② 意見及び指摘事項

大原病院は、美作市唯一の公立病院として、予防及び福祉医療を含めた包括医療を実践しており、市民の安全安心に寄与していることは高く評価できる。

なお、未収金については、発生理由が様々であるが、一旦発生した未収金を回収するには時間と経費がかかるため、新たな未収金の発生の防止策を講じられたい。

3 美作市下水道事業会計

(1) 事業概要

年度 項目	単位	R 6	R 5	増 減	増減率 (%)
処理区域内人口	人	24,375	25,016	△ 641	△ 2.56
水洗化人口	人	22,148	22,677	△ 529	△ 2.33
水洗化率	%	90.86	90.65	0.21	0.23
計画面積	ha	1,673	1,673	0	0.00
整備面積	ha	1,545	1,545	0	0.00
処理面積	ha	1,545	1,545	0	0.00
污水管渠延長	km	611	609	2	0.33
雨水管渠延長	km	2	2	0	0.00
総処理水量	m ³	3,036,414	2,909,866	126,548	4.35
一日平均処理水量	m ³	8,319	7,950	369	4.64
総有収水量	m ³	2,605,213	2,601,505	3,708	0.14
一日平均有収水量	m ³	7,138	7,108	30	0.42

(2) 予算の執行状況(消費税込み)

① 収益的収入及び支出

≪収入≫

(単位:円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	構成比	予算額に比べ 決算額の増減
公 共 下 水 道 事 業 収 益	624,394,000	628,120,522	100.6	28.5	3,726,522
営 業 収 益	180,501,000	181,192,324	100.4	8.2	691,324
営 業 外 収 益	443,892,000	446,928,198	100.7	20.3	3,036,198
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 事 業 収 益	1,204,976,000	1,214,918,238	100.8	55.1	9,942,238
営 業 収 益	217,448,000	216,524,237	99.6	9.8	△ 923,763
営 業 外 収 益	987,527,000	998,394,001	101.1	45.3	10,867,001
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
農 業 集 落 排 水 事 業 収 益	299,233,000	301,921,639	100.9	13.7	2,688,639
営 業 収 益	41,648,000	41,114,843	98.7	1.9	△ 533,157
営 業 外 収 益	257,584,000	260,806,796	101.3	11.8	3,222,796
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
小 規 模 集 合 排 水 処 理 事 業 収 益	8,609,000	7,718,858	89.7	0.4	△ 890,142
営 業 収 益	1,496,000	491,999	32.9	0.0	△1,004,001
営 業 外 収 益	7,112,000	7,226,859	101.6	0.3	114,859
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
個 別 排 水 処 理 事 業 収 益	31,111,000	31,083,877	99.9	1.4	△ 27,123
営 業 収 益	8,943,000	7,974,055	89.2	0.4	△ 968,945
営 業 外 収 益	22,167,000	23,109,822	104.3	1.0	942,822
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
生 活 排 水 処 理 事 業 収 益	20,947,000	20,341,530	97.1	0.9	△ 605,470
営 業 収 益	6,281,000	5,323,145	84.7	0.2	△ 957,855
営 業 外 収 益	14,665,000	15,018,385	102.4	0.7	353,385
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
合 計	2,189,270,000	2,204,104,664	100.7	100.0	14,834,664

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	構成比	不 用 額
公 共 下 水 道 事 業 費 用	645,461,000	627,373,483	97.2	28.4	18,087,517
営 業 費 用	594,214,000	578,049,275	97.3	26.2	16,164,725
営 業 外 費 用	48,897,000	48,683,136	99.6	2.2	213,864
特 別 損 失	1,350,000	641,072	47.5	0.0	708,928
予 備 費	1,000,000	0	—	0.0	1,000,000
特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 事 業 費 用	1,254,822,000	1,227,562,461	97.8	55.6	27,259,539
営 業 費 用	1,136,032,000	1,111,189,707	97.8	50.3	24,842,293
営 業 外 費 用	116,580,000	115,898,657	99.4	5.2	681,343
特 別 損 失	1,210,000	474,097	39.2	0.0	735,903
予 備 費	1,000,000	0	—	0.0	1,000,000
農 業 集 落 排 水 事 業 費 用	311,085,000	295,218,353	94.9	13.4	15,866,647
営 業 費 用	289,994,000	275,563,559	95.0	12.5	14,430,441
営 業 外 費 用	19,671,000	19,579,828	99.5	0.9	91,172
特 別 損 失	420,000	74,966	17.8	0.0	345,034
予 備 費	1,000,000	0	—	0.0	1,000,000
小 規 模 集 合 排 水 処 理 事 業 費 用	9,527,000	7,718,890	81.0	0.3	1,808,110
営 業 費 用	8,042,000	6,406,185	79.7	0.3	1,635,815
営 業 外 費 用	1,315,000	1,312,705	99.8	0.1	2,295
特 別 損 失	70,000	0	—	0.0	70,000
予 備 費	100,000	0	—	0.0	100,000
個 別 排 水 処 理 事 業 費 用	36,647,000	33,471,419	91.3	1.5	3,175,581
営 業 費 用	34,396,000	31,492,773	91.6	1.4	2,903,227
営 業 外 費 用	2,081,000	1,966,524	94.5	0.1	114,476
特 別 損 失	70,000	12,122	17.3	0.0	57,878
予 備 費	100,000	0	—	0.0	100,000
生 活 排 水 処 理 事 業 費 用	21,252,000	18,001,958	84.7	0.8	3,250,042
営 業 費 用	19,803,000	16,691,375	84.3	0.7	3,111,625
営 業 外 費 用	1,269,000	1,266,561	99.8	0.1	2,439
特 別 損 失	80,000	44,022	55.0	0.0	35,978
予 備 費	100,000	0	—	0.0	100,000
合 計	2,278,794,000	2,209,346,564	97.0	100.0	69,447,436

収益的収入の決算額は22億410万円で収入率は100.7%、収益的支出の決算額は22億934万円で執行率が97.0%である。

収入の構成比率は、公共下水道事業収益が28.5%、特定環境保全公共下水道事業収益が55.1%、農業集落排水事業収益が13.7%、小規模集合排水処理事業収益が0.4%、個別排水処理事業収益が1.4%、生活排水処理事業収益が0.9%である。

一方、支出の構成比率は、公共下水道事業費用が28.4%、特定環境保全公共下水道事業費用が55.6%、農業集落排水事業費用が13.4%、小規模集合排水処理事業費用が0.3%、個別排水処理事業費用が1.5%、生活排水処理事業費用が0.8%である。

② 資本的收入及び支出

≪収入≫

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
公共下水道事業資本的収入	506,821,000	263,501,553	52.0	△ 243,319,447
出 資 金	209,660,000	207,660,000	99.0	△ 2,000,000
企 業 債	137,000,000	13,900,000	10.1	△ 123,100,000
補 助 金	156,500,000	37,413,500	23.9	△ 119,086,500
負 担 金	3,300,000	4,166,390	126.3	866,390
基 金 収 入	361,000	361,663	100.2	663
特定環境保全公共下水道事業資本的収入	804,480,000	779,271,502	96.9	△ 25,208,498
出 資 金	533,859,000	531,849,000	99.6	△ 2,010,000
企 業 債	157,600,000	134,500,000	85.3	△ 23,100,000
補 助 金	110,982,000	110,982,000	100.0	0
負 担 金	1,000,000	900,000	90.0	△ 100,000
基 金 収 入	1,039,000	1,040,502	100.1	1,502
農業集落排水事業資本的収入	86,152,000	81,352,471	94.4	△ 4,799,529
出 資 金	73,734,000	73,734,000	100.0	0
企 業 債	11,000,000	6,200,000	56.4	△ 4,800,000
負 担 金	300,000	300,000	100.0	0
基 金 収 入	1,118,000	1,118,471	100.0	471
小規模集合排水処理事業資本的収入	3,681,000	2,981,000	81.0	△ 700,000
出 資 金	3,381,000	2,981,000	88.2	△ 400,000
負 担 金	300,000	0	—	△ 300,000
個別排水処理事業資本的収入	22,593,000	11,593,802	51.3	△ 10,999,198
出 資 金	5,766,000	4,966,000	86.1	△ 800,000
企 業 債	16,200,000	6,000,000	37.0	△ 10,200,000
負 担 金	600,000	600,000	100.0	0
基 金 収 入	27,000	27,802	103.0	802
生活排水処理事業資本的収入	815,000	815,297	100.0	297
出 資 金	721,000	721,000	100.0	0
基 金 収 入	94,000	94,297	100.3	297
合 計	1,424,542,000	1,139,515,625	80.0	△ 285,026,375

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	翌年度 繰越額	執行率	不用額
公共下水道事業資本的支出	723,753,000	468,460,026	232,493,000	64.7	22,799,974
建設改良費	355,400,000	100,107,600	232,493,000	28.2	22,799,400
企業債償還金	367,991,000	367,990,763	0	100.0	237
積立金	362,000	361,663	0	99.9	337
特定環境保全公共下水道事業資本的支出	1,318,506,000	1,283,974,992	6,996,000	97.4	27,535,008
建設改良費	342,507,000	307,976,652	6,996,000	89.9	27,534,348
企業債償還金	974,958,000	974,957,838	0	100.0	162
積立金	1,041,000	1,040,502	0	100.0	498
農業集落排水事業資本的支出	211,322,000	205,008,866	0	97.0	6,313,134
建設改良費	12,900,000	6,589,000	0	51.1	6,311,000
企業債償還金	197,302,000	197,301,395	0	100.0	605
積立金	1,120,000	1,118,471	0	99.9	1,529
小規模集合排水処理事業資本的支出	7,592,000	7,191,555	0	94.7	400,445
建設改良費	400,000	0	0	—	400,000
企業債償還金	7,192,000	7,191,555	0	100.0	445
個別排水処理事業資本的支出	30,980,000	19,262,459	0	62.2	11,717,541
建設改良費	18,000,000	6,283,200	0	34.9	11,716,800
企業債償還金	12,952,000	12,951,457	0	100.0	543
積立金	28,000	27,802	0	99.3	198
生活排水処理事業資本的支出	3,774,000	3,773,118	0	100.0	882
企業債償還金	3,679,000	3,678,821	0	100.0	179
積立金	95,000	94,297	0	99.3	703
合 計	2,295,927,000	1,987,671,016	239,489,000	86.6	68,766,984

資本的収入決算額 11 億 3,951 万円の事業ごとの内訳は、公共下水道事業 2 億 6,350 万円、特定環境保全公共下水道事業 7 億 7,927 万円、農業集落排水事業 8,135 万円、小規模集合排水処理事業 298 万円、個別排水処理事業 1,159 万円、生活排水処理事業 81 万円であり、予算額 14 億 2,454 万円に対する収入率は 80.0%となっている。

資本的支出決算額 19 億 8,767 万円の事業ごとの内訳は、公共下水道事業 4 億 6,846 万円、特定環境保全公共下水道事業 12 億 8,397 万円、農業集落排水事業 2 億 500 万円、小規模集合排水処理事業 719 万円、個別排水処理事業 1,926 万円、生活排水処理事業 377 万円であり、予算額 22 億 9,592 万円に対する執行率は 86.6%となっているが、翌年度繰越額を含めると 97.0%である。

(3) 経営成績

① 損益計算書

損益計算書

(単位：円・%)

年度 科目	R 6		R 5		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
営業収益	412,345,493	19.2	411,859,126	18.9	486,367	0.1
下水道使用料	402,932,205	18.8	401,914,270	18.5	1,017,935	0.3
他会計負担金	1,042,000	0.0	1,052,000	0.0	△ 10,000	△ 1.0
受託工事収益	8,287,840	0.4	8,546,450	0.4	△ 258,610	△ 3.0
その他の営業収益	83,448	0.0	346,406	0.0	△ 262,958	△ 75.9
営業費用	1,966,772,747	90.6	1,981,942,330	89.5	△ 15,169,583	△ 0.8
管渠費	98,039,393	4.5	100,728,196	4.5	△ 2,688,803	△ 2.7
ポンプ場費	1,505,235	0.1	867,919	0.0	637,316	73.4
処理場費	367,383,194	16.9	343,309,999	15.5	24,073,195	7.0
浄化槽費	29,310,551	1.4	30,631,531	1.4	△ 1,320,980	△ 4.3
受託工事費	7,534,400	0.3	7,769,500	0.4	△ 235,100	△ 3.0
総係費	93,001,754	4.3	110,347,431	5.0	△ 17,345,677	△ 15.7
減価償却費	1,359,758,462	62.6	1,380,230,138	62.3	△ 20,471,676	△ 1.5
資産減耗費	10,239,758	0.5	8,057,616	0.4	2,182,142	27.1
営業損失	1,554,427,254	—	1,570,083,204	—	△ 15,655,950	△ 1.0
営業外収益	1,730,919,708	80.8	1,766,533,679	81.1	△ 35,613,971	△ 2.0
受取利息及び配当金	337,388	0.0	17,169	0.0	320,219	1,865.1
他会計負担金	980,865,000	45.8	1,025,154,000	47.1	△ 44,289,000	△ 4.3
他会計補助金	252,480,000	11.8	236,231,000	10.8	16,249,000	6.9
長期前受金戻入	496,921,120	23.2	504,717,743	23.2	△ 7,796,623	△ 1.5
雑収益	316,200	0.0	413,767	0.0	△ 97,567	△ 23.6
営業外費用	202,745,340	9.3	231,452,558	10.4	△ 28,707,218	△ 12.4
支払利息及び企業債取扱諸費	188,707,411	8.7	219,669,299	9.9	△ 30,961,888	△ 14.1
雑支出	14,037,929	0.6	11,783,259	0.5	2,254,670	19.1
経常損失	26,252,886	—	35,002,083	—	△ 8,749,197	△ 25.0
特別利益	0	0.0	0	0.0	0	—
特別損失	1,137,835	0.1	2,164,013	0.1	△ 1,026,178	△ 47.4
固定資産売却損	45,978	0.0	0	—	45,978	皆増
過年度損益修正損	473,290	0.0	1,398,847	0.1	△ 925,557	△ 66.2
その他特別損失	618,567	0.1	765,166	0.0	△ 146,599	△ 19.2
当年度純損失	27,390,721	—	37,166,096	—	△ 9,775,375	△ 26.3
前年度繰越欠損金	2,218,847,589	—	2,181,681,493	—	37,166,096	1.7
当年度未処理欠損金	2,246,238,310	—	2,218,847,589	—	27,390,721	1.2

(注) 構成比は総収益(21億4,326万円)、総費用(21億7,065万円)に対する比率である。

ア 営業損益

営業収益 4 億 1,234 万円から営業費用 19 億 6,677 万円を控除した営業損失は、15 億 5,442 万円となっている。

イ 経常損益

営業損失に営業外収益 17 億 3,091 万円及び営業外費用 2 億 274 万円を加減した経常損失は、2,625 万円となっている。

ウ 純損益

経常損失に、特別損失 113 万円を加減した当年度純損失は、2,739 万円となっている。

③ 未収金の状況について

下水道負担金・分担金未収金状況

(単位：円・%)

区 分		年 度		対前年度比	
		R 6	R 5	増 減	増減率
現 年 度 分	公 共 下 水 道 負 担 金	0	0	0	—
	特定環境保全公共下水道負担金	600,000	1,195,150	△ 595,150	△ 49.8
	農業集落排水事業分担金	300,000	300,000	0	—
	小規模集合排水事業分担金	0	0	0	—
	個別排水事業分担金	200,000	400,000	△ 200,000	△ 50.0
	生活排水施設事業分担金	0	0	0	—
	計	1,100,000	1,895,150	△ 795,150	△ 42.0
過 年 度 分	公 共 下 水 道 負 担 金	6,253,960	7,733,200	△ 1,479,240	△ 19.1
	特定環境保全公共下水道負担金	12,492,580	12,492,580	0	—
	農業集落排水事業分担金	5,876,000	5,876,000	0	—
	小規模集合排水事業分担金	449,600	449,600	0	—
	個別排水事業分担金	283,000	283,000	0	—
	生活排水施設事業分担金	0	0	0	—
	計	25,355,140	26,834,380	△ 1,479,240	△ 5.5
合 計	26,455,140	28,729,530	△ 2,274,390	△ 7.9	

下水道使用料未収金状況

(単位：円・%)

区 分		年 度		対前年度比	
		R 6	R 5	増 減	増減率
現 年 度 分	公 共 下 水 道 使 用 料	17,486,579	18,206,745	△ 720,166	△ 4.0
	特定環境保全公共下水道使用料	19,565,011	18,644,309	920,702	4.9
	農 業 集 落 排 水 使 用 料	3,459,507	3,372,019	87,488	2.6
	小規模集合排水使用料	42,893	42,766	127	0.3
	個 別 排 水 使 用 料	765,736	719,469	46,267	6.4
	生 活 排 水 使 用 料	517,149	502,122	15,027	3.0
	計	41,836,875	41,487,430	349,445	0.8
過 年 度 分	公 共 下 水 道 使 用 料	4,059,541	2,668,704	1,390,837	52.1
	特定環境保全公共下水道使用料	515,288	859,937	△ 344,649	△ 40.1
	農 業 集 落 排 水 使 用 料	82,354	262,774	△ 180,420	△ 68.7
	小規模集合排水使用料	0	0	0	—
	個 別 排 水 使 用 料	4,878	4,878	0	—
	生 活 排 水 使 用 料	0	0	0	—
	計	4,662,061	3,796,293	865,768	22.8
合 計		46,498,936	45,283,723	1,215,213	2.7

令和6年度末現在の下水道負担金・分担金の未収金は、2,645万円で前年度と比べると227万円(7.9%)減少している。また、下水道使用料の未収金は、4,649万円で前年度と比べると121万円(2.7%)増加している。

(4) 財政状況

《資産の部》

(単位：円・%)

年 度 科 目	R 6		R 5		対前年度比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減	増減率
固 定 資 産	36,881,202,488	97.6	37,863,513,777	97.9	△ 982,311,289	△ 2.6
有形固定資産	36,282,932,705	96.0	37,267,656,529	96.3	△ 984,723,824	△ 2.6
土 地	779,982,375	2.1	779,982,375	2.0	0	—
建 物	1,255,879,598	3.3	1,305,789,366	3.4	△ 49,909,768	△ 3.8
構 築 物	32,463,516,286	85.9	33,218,280,150	85.9	△ 754,763,864	△ 2.3
機械及び装置	1,758,161,192	4.7	1,918,937,605	5.0	△ 160,776,413	△ 8.4
車両運搬具	9,714,565	0.0	14,066,430	0.0	△ 4,351,865	△30.9
工具器具及び備品	12,333,234	0.0	13,173,329	0.0	△ 840,095	△ 6.4
建設仮勘定	3,345,455	0.0	17,427,274	0.0	△ 14,081,819	△80.8
投資その他の資産	598,269,783	1.6	595,857,248	1.5	2,412,535	0.4
投資有価証券	200,115,100	0.5	200,345,300	0.5	△ 230,200	△ 0.1
基 金	377,960,721	1.0	375,317,986	1.0	2,642,735	0.7
建設基金	67,543,265	0.2	65,372,937	0.2	2,170,328	3.3
償還基金	310,417,456	0.8	309,945,049	0.8	472,407	0.2
その他投資	20,193,962	0.1	20,193,962	0.1	0	—
流 動 資 産	894,081,572	2.4	816,440,387	2.1	77,641,185	9.5
現金預金	826,074,256	2.2	727,913,399	1.9	98,160,857	13.5
未 収 金	68,007,316	0.2	88,526,988	0.2	△ 20,519,672	△23.2
未 収 金	93,764,459	0.2	112,225,749	0.3	△ 18,461,290	△16.5
貸倒引当金	△ 25,757,143	△0.1	△ 23,698,761	△0.1	△ 2,058,382	8.7
資 産 合 計	37,775,284,060	100.0	38,679,954,164	100.0	△ 904,670,104	△ 2.3

《負債及び資本の部》

(単位：円・%)

年度 科目	R 6		R 5		対前年度	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
固定負債(企業債)	7,872,899,057	20.8	9,231,577,109	23.9	△1,358,678,052	△ 14.7
流動負債	1,794,408,228	4.8	1,781,283,364	4.6	13,124,864	0.7
企業債	1,519,278,052	4.0	1,564,071,829	4.0	△ 44,793,777	△ 2.9
未払金	267,442,176	0.7	210,536,535	0.5	56,905,641	27.0
引当金(賞与引当金)	7,688,000	0.0	6,675,000	0.0	1,013,000	15.2
繰延収益	12,626,168,486	33.4	12,988,184,606	33.6	△ 362,016,120	△ 2.8
長期前受金	28,248,155,999	74.8	28,133,257,204	72.7	114,898,795	0.4
長期前受金収益化累計額	△ 15,621,987,513	△41.4	△ 15,145,072,598	△39.2	△ 476,914,915	3.1
資本金	17,105,748,125	45.3	16,283,837,125	42.1	821,911,000	5.0
自己資本金	17,105,748,125	45.3	16,283,837,125	42.1	821,911,000	5.0
固有資本金	5,440,829,625	14.4	5,440,829,625	14.1	0	—
繰入資本金	11,664,918,500	30.9	10,843,007,500	28.0	821,911,000	7.6
剰余金	△ 1,623,939,836	△ 4.3	△ 1,604,928,040	△ 4.1	△ 19,011,796	1.2
資本剰余金	622,298,474	1.6	613,919,549	1.6	8,378,925	1.4
国庫補助金	352,430,180	0.9	352,430,180	0.9	0	—
県補助金	36,607,643	0.1	36,607,643	0.1	0	—
負担金及び分担金	189,742,307	0.5	183,775,917	0.5	5,966,390	3.2
その他資本剰余金	43,518,344	0.1	41,105,809	0.1	2,412,535	5.9
欠損金	2,246,238,310	5.9	2,218,847,589	5.7	27,390,721	1.2
前年度未処理欠損金	2,218,847,589	5.9	2,181,681,493	5.6	37,166,096	1.7
当年度未処理欠損金	27,390,721	0.1	37,166,096	0.1	△ 9,775,375	△ 26.3
負債・資本合計	37,775,284,060	100.0	38,679,954,164	100.0	△ 904,670,104	△ 2.3

資産の総額は377億7,528万円で、資産の内訳は固定資産が368億8120万円、流動資産が8億9,408万円である。

また、負債及び資本の内訳は、固定負債が78億7,289万円、流動負債が17億9,440万円、繰延収益が126億2,616万円、資本金が171億574万円、剰余金が△16億2,393万円である。

(5) む す び

① 業務実績について

下水道事業の目的は、公共用水域の水質保全を図り、身近な自然環境に与える負荷を軽減し、快適な生活環境を提供することである。

美作市の下水道事業は、昭和 52 年に美作地域で着手したが、ほぼ整備を終え、近年の処理区域面積は 1,545ha となっている。

本年度末における水洗化人口は 22,148 人で前年度と比較すると 529 人減少しているが、水洗化率は逆に前年度より 0.2%増加している。年間総処理水量は 3,036,414 m³、年間総有収水量は 2,605,213 m³であり、前年度と比較すると年間総処理水量は 126,548 m³、年間総有収水量は 3,708 m³増加している。

下水道会計は下水道使用料による独立採算経営を目指しているが、一般会計からの繰入金金が 12 億 3,438 万円（その内、基準外繰入金 2 億 5,248 万円）、収益合計の 56.0%を占めるなど、依然として一般会計からの繰入金に依存している状態にある。

また、膨大な下水道資産を適切に管理し、汚水処理施設の統廃合により汚水処理施設数の最適化を図りつつ、ストックマネジメント計画により維持更新経費の財源を確保したうえで計画的に更新を行い、次世代を支える下水道事業を進めていかなければならない。

② 意見及び指摘事項

下水道事業は、汚水の処理・生活環境の改善及び公共用水域の水質保全という機能を果たす必要がある。現在使用中の施設は耐用年数の経過に伴う老朽化により、多額の修繕費の増加が見込まれるため、設備の効率的な維持管理を行い、徹底した経費の削減に努められたい。また、施設・汚水管の統廃合等については計画的に更新を行っているが、計画に遅れが出ないよう努められたい。

また、下水道使用料未収金は 4,649 万円と昨年度より 120 万円増加している。滞納処理に関連する全ての部署が連携の上、総合的な対応が出来る体制をつくり、収納率向上のために効率的で成果の上がる取り組みを検討されたい。